

若猪野メロン

勝山市若猪野地区では、ハウスを利用してネットメロンの栽培が行われ、旧盆を中心に贈答用の高級メロンとして生産されています。



1 生産概況

①生産地

勝山市若猪野地区を中心にガラス温室やビニルハウスで栽培されています。

昭和49年からガラス温室が、昭和54年からビニルハウスが建設され、その時からメロンの栽培が行われています。

昭和60年頃から「若猪野メロン」のブランドを立ち上げ、県内外へ販売されています。

②栽培の概要

品 種：アールスナイトなどのアールス系ネットメロン

作 型：4～5月に定植され、7月中旬から10月にかけて収穫され、奥越地区の昼夜の寒暖差を利用して、糖度の高いメロンが栽培されています。

1株に1個しか実を付けさせないことから、1玉1玉丁寧に管理されています。

土壌に伝染する病気を予防するために、温水を使って土壌を消毒するなど、農薬を極力使用しない栽培方法にも取り組んでいます。

